

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21660
事業名	国際観光誘致費					
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE				
	課長名	瀬川 裕佳子	担当者名	中西 陽子	電話番号	211-2376
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他				
	目的	短期	札幌市観光まちづくりプラン ・外国人宿泊者数 350万人(2022年度) ・欧米等からの宿泊者数 20万人(2022年度)			
		長期	・訪日旅行の旅行地として確固たる地位を確保する。 ・来札観光客の市場内訳に占める欧米の割合を高める。 ・富裕層旅行の誘致による旅行地としてのブランド確立を図る。			
	取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ海外観光客の早期回復のため、各種プロモーションを実施する。 ①札幌市国際観光誘致事業実行委員会及び日中経済協会への負担金拠出:東アジア、東南アジア、欧米、富裕層市場に対し、WEB・SNS等を活用した情報発信、メディア・旅行会社招請、現地イベント開催、航空会社との共同プロモーション、海外情報拠点の設置等を実施する。 ②国際交流員の任用:翻訳・通訳業務の他、外国人目線での各種プロモーションを実施。 ③他自治体と連携したプロモーション、富裕層誘致や超広域周遊を促す				
実施結果	来るべき国際観光の再開に備えるため、入国制限に応じ、将来的な来札意欲の向上を図るため、WEB・SNS・動画配信サービス等を活用した継続的な情報発信、早期回復が見込まれるアジア市場へのプロモーション等を実施した。また、アフターコロナを見据え、欧米豪への認知獲得を進めるべく、東京オリンピック開催期間と合わせたデジタルプロモーション、英国・米国・豪州レップを活用した現地セールス・調査等、及び都市型スノーリゾートの認知向上・ブランド化推進を図るための各国の旅行会社・メディアの招請事業等により札幌の魅力発信を行った。					
事業実施における工夫点	「地域の観光資源を活用したプロモーション事業」の活用により、北海道運輸局・他自治体と連携したプロモーションを実施した。					
対象者	観光関連事業者等	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	無し					
他都市の状況	JNTO主催の国際観光誘致イベントへの参加や、平成15年から実施されているジジット・ジャパン・キャンペーン(平成31年からは「地域の観光資源を活用したプロモーション事業」)等を活用し、多くの自治体が積極的に観光誘致事業を実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	87,398	100,000	86,160	100,000	
うち特定財源	527	522	466	522	
人工	1.3	1.1	1.1	1.1	
人件費	9,360	7,920	7,920	7,920	
計(事業費+人件費)	96,758	107,920	94,080	107,920	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> 国際誘客プロモーション(実行委員会負担金を含む)79,310千円 国際誘客プロモーション(都市連携負担金)0千円 国際交流員の任用に係る経費 3,392千円 札幌市北京事務所を活用した観光誘致活動 3,458千円 			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> 国際誘客プロモーション(実行委員会負担金を含む)93,700千円 国際交流員の任用に係る経費 6,300千円 			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	外国人宿泊者数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	11,187	3,310,000	11,464	3,500,000
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	来日できない状況下でも、アジア、欧米への継続的に情報発信を実施し、継続的に来札意欲の喚起を行った。令和3年10月に(株)日本政策投資銀行と(公財)日本交通公社が共同で実施した「アジア・欧米豪 北海道観光に関する訪日外国人旅行者の意向調査」での、訪れたい日本の地域に関する調査では、回答者全体では北海道は3位・札幌は7位(2019年同調査5位・7位)、アジアでは北海道は2位・札幌は7位(2019年同調査3位・7位)との結果であり、札幌・北海道は高い人気を維持している。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	コロナ禍にも関わらず、札幌・北海道は海外において引き続き高い人気を維持していることから、プロモーションの規模は適切であったと考える。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	札幌市国際観光誘致事業実行委員会において民間事業者の巻き込みを図り、共にプロモーションを行うなど、事業の効率化を図っている。今後も、適宜効果検証と民間事業者との連携を図りながら各種プロモーションに取り組むことが重要である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	コロナ禍においても、情報発信を継続して実施したことが、前述の(株)日本政策投資銀行等の調査結果のとおり、北海道・札幌の人気維持につながったと考えられる。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	国際観光の再開へと動き出す中、インバウンドの早期回復に向け、早期回復見込み市場への重点プロモーション・新千歳空港への直行便の回復を目指した機動的なプロモーションを行う。また、アフターコロナの持続可能な観光の推進に向け、消費単価・観光消費額の高い欧米豪・富裕層への市場拡大に向け、マーケットの情報収集及び事業の効果検証により、効果の高いプロモーションを実施していく。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	国際観光の早期再開が見込まれる市場への機動的プロモーション、欧米豪・富裕層への認知拡大に向けたプロモーション等を実施する。	見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	コロナ禍においても、海外における北海道・札幌の人気の高さを維持しているため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 引き続き、民間事業者とのさらなる連携強化、効果検証を通じたプロモーション手法の見直しを各市場毎に行っていく。		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 現状予算内で、適宜手法を見直すことにより、さらにプロモーション効果を高める。	見直し効果額	0 千円